

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

				No.	34-003		
PDCA	事務事業名	新病院建設事業	部課等名	半田病院事務局 管理課 新病院担当	担当 内線等	仲村 22-9881	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち					
		節： 第3節 健康増進と医療体制の充実					
		基本施策： 3. 半田病院					
		単位施策： (2) 健全な経営の推進					
	根拠法令等	個別施策： ④将来構想の検討					
	対象・目的	現病院は、建設後38年以上経過しており、老朽化、耐震性、狭隘化等の課題を抱えている。特に、耐震性の課題については、地震の規模によっては医療の継続提供ができなくなる可能性がある。これらの課題や、経営面、人材確保の面からも、常滑市民病院との診療統合及び経営統合を進めたうえで、令和7年春の新病院開院を目指す。					
	目的を達成するための手段・活動内容	【新病院建設工事関連】 ①新病院建設に伴う建設設計業務を実施する。 ②新病院建設に伴う建設支援業務を実施する。 【診療統合・経営統合】 常滑市民病院との診療統合・経営統合を実現するため、半田市立半田病院・常滑市民病院統合会議を開催し、協議する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		半田市立半田病院・常滑市民病院統合会議の実施	—	2	1	回	
		同調整会議、経営統合部会及び診療統合部会の実施	—	6	5	回	
		半田病院新病院建設基本設計の作成	—	—	1	式	
		事業費	13,308	27,379	177,587	千円	
		人件費	21,134	20,386	21,160	千円	
		総事業費	34,442	47,765	198,747	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		統合会議実施1回当たりのコスト	—	611.0	635.0	千円	
		同調整会議等実施1回当たりのコスト	—	306.0	317.0	千円	
	半田病院新病院建設基本設計の作成のコスト	—	—	159,348.0	千円		
	成果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①業務進捗率（建設設計業務）	実績値	0.0	0.0	30.8	%
			目標値	0.0	0.0	36.0	
②業務進捗率（建設支援業務）		実績値	0.0	0.0	20.4	%	
		目標値	0.0	0.0	18.0		
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	B					
		プロポーザルで選定した設計者とともに、新病院基本設計を作成し、そのパブリックコメントを実施した。また、都市計画病院としての建設に向け、都市計画決定の手続きを進めた。 常滑市民病院との診療統合及び経営統合に関しては、3回目となる半田市立半田病院・常滑市民病院統合会議を開催し、経営統合の時期について承認を得た。 また、統合条件を明確にするため、常滑市との間で「半田市と常滑市の病院経営統合に関する基本協定書」及び「半田市と常滑市の病院経営統合に関する実施協定書」を締結した。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	現状維持					
		知多半島中南部全域における中核病院として、救急医療を中心とした政策的医療を継続的に担う新病院を、安全にかつ遅滞なく建設するため、設計者、施工予定者及びエネルギーサービス事業予定者と協力しながら、実施設計を進める。また、都市計画事業の事業認可を受け、令和3年度に用地を取得する。 令和7年4月1日の統合に向けて、令和4年度に半田市と常滑市で統合準備室を設置するため、必要な準備を行う。また、「常滑市・半田市医療提供体制等協議会」で提言された課題は、半田市立半田病院・常滑市民病院統合会議を引き続き開催し、協議する。					
	令和3年度の目標	成果指標			目標値	単位	
		①事業進捗率			6.3	%	